



# あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM 00 2月号

## 博物館まつり開催！

展示：

平成12年2月8日(火)～13日(日)

特別展示室

発表会：2月12日(土)

午後1時半～4時半

講堂(入場自由)



「博物館まつり」は、博物館を舞台に活動しているグループの日頃の活動の成果を発表し合い、グループ同士、会員同士の交流をはかるとともに、来館された方々に館活動を紹介するための催しです。

博物館の年間会員制行事の場合、参加されている方以外には、どんな活動をしているのかがわかりにくいという声や、他の会の会員とも交流をはかりたいとのご意見がありました。そうした点を解決するための第一歩として開催が計画されたものです。博物館にはこんな活動もあるのだということを知って頂き、この3月に予定されている各会の年間会員募集の参考にもして頂ければ幸いです。

なお、この催しは各会で選ばれた実行委員の話し合いで計画をにつめています。忙しいなか、時間をさいて頂いた委員の方々、また展示の準備作業に参加された多くの方々に感謝いたします。

### 参加予定グループ

古代遺跡を探す会・民俗探訪会・石仏を調べる会・古文書講読会・地域史研究会・裏打ちの会・戦災と空襲を記録する会・天体観測会・相模川の生い立ちを探る会・地質調査会・漂着物を拾う会・展示解説ボランティアの会・神奈川キノコの会

# 博物館の新しい収蔵庫が完成しました！

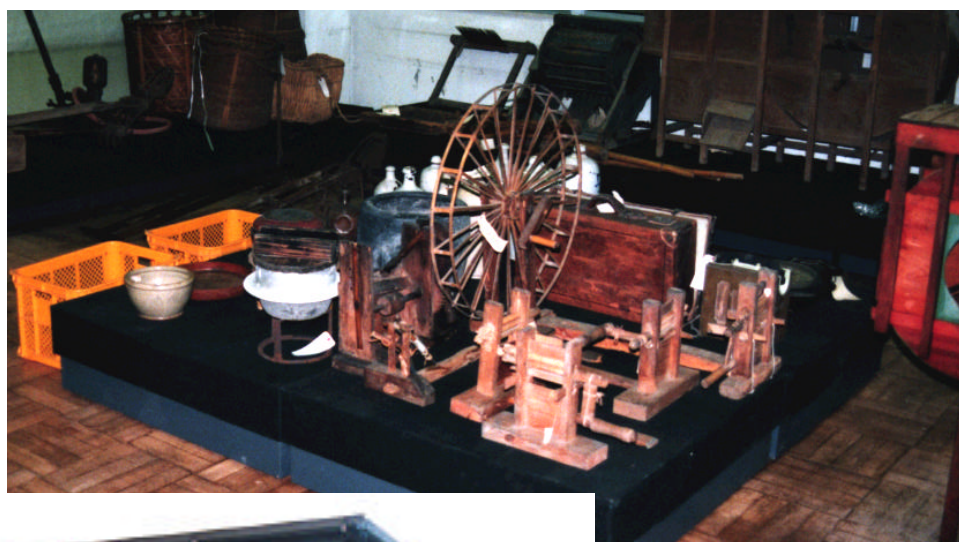
展示は博物館の顔です。数多くの収蔵資料の中から、地域を語る上でとくに大切な資料を厳選して展示しています。展示していない資料は、博物館の収蔵室に納められ、5年ごとに行っている常設展示替えや、毎月の寄贈品コーナー、特別展示などのために待機しています。現在は収蔵室に眠っていても、テーマや視点を変えれば、いずれの資料もいつかは脚光を浴びる可能性を秘めています。すぐには活用されなくても、資料を保管し、後世に長く伝えていくこと自体が博物館の大切な使命です。博物館は、あくまでもモノが命だからです。また、学校や他の博物館へ貸出するために、同じ様な資料が複数必要ですし、民俗部門では藁細工の体験学習用に、ワラスグリ機や藁打ち機、サイヅチ、ムシロなどを現役の道具として活用しています。

こうしたことから、博物館にはきちんとした収蔵室が確保されていなければなりません。平塚市博物館には5つの収蔵室とプレハブ倉庫があり、ここに資料のほとんどを納めてきました。しかし、もう何年も前から既存の収蔵スペースだけでは納めきれなくなり、あき教室や倉庫をお借りしてなんとかかまかまなってきました。それでも、日々増え続ける資料に対応できず、半永久的に使用できる新たな収蔵庫の確保は、長い間の願いでした。

このたび、城島幼稚園の廃園に伴い、三教室を博物館の分室として使用できることになりました。それぞれ、市史編さん担当の文書保管室、郷土資料室、博物館収蔵室に充てています。郷土資料室には、鍬、唐箕、徳利、糸車などいずれも城島地区から寄贈された民俗資料を収蔵展示し、いずれは、小学三年生の昔調べの学習などの見学に応じられる体制を整えていく予定です。城島地区ではとくに綿の栽培が盛んだったのでしょうか、ロクロ、またはサネトリと呼ぶ綿の種取り機が多いのが特色です。

さらに昨年の12月、旧幼稚園の敷地へ新たに二階建てのプレハブ倉庫が建設され、大規模な引っ越し作業を終えました。延べ面積272㎡の大きな倉庫で、1階は船や大八車、消防車などの大型資料を収蔵し、2階は各地の市町村史他文書類を保管しました。この新しくできた収蔵庫を末永く活用できるよう、ゆとりがあるからと油断せず、効率良く整理していかなければならないと思います。同時に、市内で使用されてきた古民具、とくに回り地蔵や講の道具など信仰関係の資料の寄贈をお待ちしています。

城島分室の  
民具の展示



新築された収蔵庫

---

## 寄贈品コーナー

# 新顔の帰化植物

(2月16日～3月30日)

道ばたでよく見かける植物なのに、図鑑で調べても名前が分からない。そんな経験をお持ちの方も多いのではないのでしょうか。多くの場合、そうした種類は外国から入ってきて野生化した帰化植物、それもまだ図鑑で紹介されていない新顔の帰化植物であることが多いのです。今月の寄贈品コーナーでは、そうした種類を中心に、最近増えている帰化植物の代表的なものを紹介します。

図に示したものは、ミチタネツケバナという種類で、数年前に存在が気づかれたものですが、いつの間にか増えており、平塚でも市街地の路傍のあちこちで記録されています。水田などに生えるタネツケバナとそっくりですが、花の時期にも根元に四方に広がるロゼットと呼ばれる葉を持っているのが特徴です。また、細かい点では、種子をルーペで見ると、その縁に白っぽい翼があることも見分けに役立ちます。別の帰化植物にコタネツケバナというのがあり、これもミチタネツケバナによく似ていますが、茎や葉に毛が生えている点で見分けられます。ミチタネツケバナもコタネツケバナも原産地はヨーロッパだそうです。

また、特に近年増えてきた種類としてはウラジロチチコグサをあげることができます。チチコグサの仲間には帰化植物が多く、平塚でもチチコグサモドキ・タチチチコグサ・ウスベニチチコグサが記録されています。ウラジロチチコグサは、これらの種とは、葉の裏が白く、深緑の表面とはっきりしたコントラストがあることで見分けられます。一昔前にはチチコグサモドキが多かったのですが、ここ十年ほどの間にウラジ



ロチチコグサが急激に増え、今では勢力が逆転したように感じられます。帰化植物の世界でも栄枯盛衰があるのです。一方、在来種のチチコグサはすっかり少なくなってしまいました。

帰化植物が日本に入ってきたルートにはいろいろなものがあります。羊毛や穀物などに混ざって種子が入り込んだ密航型のものはその代表です。近年では、花壇に栽培されたものが逃げ出して野生化するケースが目立っています。川原などで、コスモスやトレニア(ハナウリクサ)などを見かけるのは、そうした起源のものです。

帰化植物は在来の植物に悪影響を及ぼすこともあり、またもともとの景観を変えてしまうようなこともある問題児ですが、都市化に抗して勢力を伸ばしている興味深い植物でもありません。関心を持ち、その動向に気をつけていく必要があるでしょう。

---

# 博物館カレンダー

## 2000年2月

1	火	☆	寄贈品コーナー「高林寺遺跡展」 (～2月13日)	展示室
4	金		古文書講読会	講堂
		◎	星を見る会「冬の星座」	屋上
8	火	☆	「博物館まつり」 (～2月13日)	特展室
9	水		裏打ちの会	科学室
10	木		石仏を調べる会	特研室
12	土		天体観察会「カノーブス」	野外
		◎	博物館まつり発表会	講堂
13	日		地質調査会	野外
16	水		地質調査会	特研室
		☆	寄贈品コーナー「新顔の帰化植物」 (～3月30日)	展示室
18	金		古文書講読会	講堂
			相模川の生い立ちを探る会	湿地研
20	日	○	体験学習「竹籠を作ろう」	科学室
		◎	ろばたばなしの会	展示室
24	木		石仏を調べる会	特研室
25	金		古文書講読会	講堂
26	土		空襲と戦災を記録する会	特研室
27	日		古代遺跡を探す会	野外
			地質調査会	科学室

## 2000年3月

1	水	☆	寄贈品コーナー「新顔の帰化植物」 (～3月30日)	展示室
3	金		古文書講読会	講堂
4	土		地質調査会	科学室
		☆	プラネタリウム「全天88星座」 (～4月23日)	プラネ室
5	日		民俗探訪会	野外
9	木		石仏を調べる会	特研室
10	金		古文書講読会	講堂
11	土	◎	漂着物を拾う会	虹ヶ浜
12	日		地質調査会	野外
15	水		裏打ちの会	科学室
			地質調査会	特研室
17	金		古文書講読会	講堂
		◎	星を見る会「月」	屋上
18	土		天体観察会「まとめ」	科学室
		☆	特別展「星の地図・星の住所」 (～4月9日)	特展室
19	日	◎	ろばたばなしの会	展示室
23	木		石仏を調べる会	特研室
		◎	特別展説明会	プラネ室
24	金		古文書講読会	講堂
25	土		空襲と戦災を記録する会	特研室
26	日		古代遺跡を探す会	野外
			相模川の生い立ちを探る会	辺室山
30	木	○	体験学習「星座早見を作ろう」	科学室

### ☆寄贈品コーナー

#### 「高林寺遺跡展」

市内四之宮の高林寺遺跡の出土品の紹介。  
会期：1月5日(水)～2月13日(日)

#### 「新顔の帰化植物」

帰化植物の中から、最近新たに見られるようになった種類、特に増えた種類を紹介します。  
会期：2月16日(水)～3月30日(木)

### ☆プラネタリウム

#### 「二千年紀・人類の夢」

期間：1月15日(土)～2月27日(日)

#### 「全天88星座」

全天の88星座すべてを一気に紹介します。

期間：3月4日(土)～4月23日(日)

※土日の 11時と14時 ※観覧料：100円

### ○体験学習「竹かごを作ろう」

花かごという小さな竹かごを作ります。

日時：2月20日(日) 9時半～12時

場所：科学教室

定員：15名(小学5年生以上)

材料費：500円

申込：往復はがき 〆切：2月10日

### ◎星を見る会

「冬の星座」 きらびやかな冬の星座と、そこに散らばる様々な天体を観察します。

日時：2月4日(金) 19時～20時30分

「月」 月面のクレータや海などの地形を観察します。

日時：3月17日(金) 19時～20時30分

※場所：博物館屋上(集合は科学教室) 参加自由

### ◎ろばたばなし

相模地方の伝説と昔話を語ります。

日時：2月20日(日) 午後1時半と3時

場所：1階展示室民家内 参加：自由

☆：展示(無料)・プラネタリウム(観覧料)

○：申込制 ◎：自由参加

他は年間会員制

あなたと博物館 24巻11号通巻277号 発行 平塚市博物館 3000

〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel. 0463-33-5111 Fax. 31-3949